



解脱金剛御年祭

今回は「解脱金剛御年祭」について学んでいきましょう。

御年祭とは、解脱会の六次行事の一つです。毎年、金剛さまが遷化された（お亡くなりになった）十一月四日に、京都・御寺泉涌寺の舍利殿にて、泉涌寺の長老猊下を導師に、職衆によって、金剛さまのご法要が行われています。

御寺泉涌寺は御歴代天皇の御陵（お墓）と御尊牌（お位牌）を祀る靈明殿があることから、御皇室唯一の菩提寺として尊ばれています。なぜ、そのような場所でご法要が行われるのか。それは泉涌寺の境内地に、金剛さまのご靈骨が鎮まる「解脱金剛宝塔」があるからです。

金剛さまは最晩年、「死した後も泉山（泉涌寺のこと）を護持し奉らん」との思いを吐露さ

れ、泉山の一角に鎮まることを願われました。本来、御皇室の菩提寺に民間人が鎮まるなどありえないことでした。しかし、金剛さまの泉山護持にかける強い思いを汲み取られた泉涌寺より特別なご配慮を賜わり、約一〇〇坪の土地の永代使用が許可されたのです。

ご遷化後、金剛さまのご靈骨は一旦、泉涌寺内の海会堂にご安置されました。会員たちは早速、宝塔建立資金の勧募に動き出し、戦争の傷も癒えない中で、一九〇二万九〇一九円という莫大な金額が集まりました。会員の真心が結集し、昭和二十九年に金剛宝塔が完成。金剛さまのご靈骨は宝塔内陣にお祀りされ、「国の礎、世の鎮め」として今もお働きになっています。私たちが今、解脱の教えを学べるのは金剛さまのお蔭です。

ぜひ御年祭に参加して、金剛さまに心からの感謝を申し上げましょう。そして泉山の参拝では、金剛さまのご精神にならい、「与えて求め太陽の心」で私たちが国民の幸せを祈り続けてくださる御皇室に、感謝と尊崇の念を捧げさせていただきます。

また、御年祭の日、金剛さまのご法要と併せて行われるのが「斎祀精霊」のご法要です。斎祀精霊とは、死後も金剛さまの手足となってお使いいただきたく、宝塔外陣に特別に祀られたお靈魂です。自分の先祖が斎祀されている場合、霊界において働く先祖に恥じないよう、世のため人のためにお使いいただくことをお誓いしましょう。

◎解脱会にご縁を頂けて良かったと思うことを話し合ってみましょう。